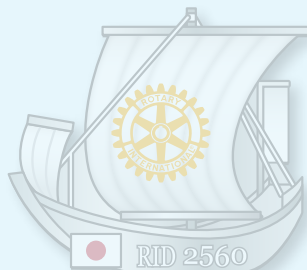


ガバナー月信



月信最終号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 高橋年度感謝の集い
- ③ 地区幹事挨拶
- ④ 地区財務委員挨拶
- ⑤ ガバナー補佐挨拶
- ⑥ 各委員会報告
- ⑦ 2022-23年度 財団・米山奨学寄付一覧



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナー一年度を振り返って

2022-23 年度 ガバナー

高橋 秀樹 (新潟 RC)

2022-23 年度は不安と共に始まった年度でした。年度初めの時点では、まだ COVID-19 の感染状況がどうなるか予断が許されない状況で、感染状況が膠着状態になる可能性も、改善されていく可能性も、逆に悪化していく可能性も考えなくてはなりませんでしたが。しかし、膨大な各種事業や諸行事の準備を進めない訳にはいかず、何一つ予想できないなかで予定はすべて立案して進めていく、という恐ろしい状況でした。

結果的には、実施しなければいけなかったすべての事業、行事は恙無く実施され、それどころか、青少年交換事業については当地区では数年ぶりに復活させることすらできました。大変喜ばしい事であると同時に、各種事業、行事の実務に携わって下さった方々にどれほど大きなストレスを強い、ご負担を掛けたかと思うと、ただただ頭が下がるばかりです。深く感謝申し上げます。

また、年度当初には、県北地区が豪雨災害に見舞われ、地域の多くの方々はもちろん、仲間のロータリアンの方々も多数被災しました。被災したロータリアンの方々自身が地域の救援に奔走し、第一分区のみなさんが協力して被災地支援を進めてくれたのみならず、他の分区からも支援に駆けつけてくれたり、自発的に支援金寄付を進めて下さったりしたロータリアンがたくさんいらっしゃいました。さらに、ロータリーを退会した方まで、ロータリーの支援テントに駆けつけて下さいました。これらのことは、我々が第 2560 地区の誇りとするところであります。被災地支援に尽力して下さったすべての方々に感謝いたします。

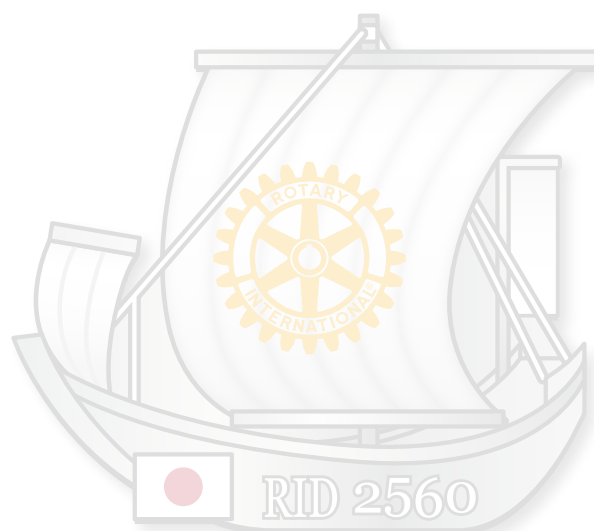
さらに、年度後半には、地区として新たな一步を踏み出す事柄もいくつかありました。一つは、地区研修委員会の発足です。当該委員会は、ロータリー章典に定められている必須の委員会ではありますが、当地区では、当該委員会の業務を、他の委員会に分割して委託することが、長年の習慣でした。しかし、地区の若手ロータリアンからの要望や、ベテランロータリアンの提言、そして、地区運営改善委員会での議論により、正式に当該委員会を発足させることができました。地区のみなさまの御理解、御協力を是非ともお願い申し上げます。

次に、地区の各クラブの事務職員の合同会議が、初めて実施されました (6月28日)。ロータリアン数が減少していきつつも、ロータリークラブの役割はより大きくなっていく傾向にありますので、事務職員の方々の活躍は今まで以上に大切になっていくことが予想されます。各クラブの事務職員の方々が、それぞれ抱える問題を分かち合い、様々な情報を共有できたことは、今後の情勢を鑑みるに

実に有意義な事でした。

さらに、これまで地区事務所があったホテルの都合により、ホテルイタリア軒の地下1階に地区事務所を移転しました。スペースも少し広くなり、使い勝手も向上したのではないかと思います。ぜひご活用ください。

全体として振り返ってみると、不安と共に始まりながらも、堅実に業務が遂行され、さらに新たな成果も得られた年度だったと思います。地区のロータリアン、ロータリーファミリーの皆様、事務職員の方々、そしてロータリーに協力して下さった地域の方々の御蔭だと思えます。改めて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。





高橋年度感謝の集い

2022-23 年度 地区幹事

山田 隆一 (新潟 RC)

ホテルイタリア軒を会場に去る 6 月 24 日「高橋年度感謝の集い」が開催されました。

当日は高橋ガバナー輩出新潟クラブから四大行事各実行委員長にもお集まり頂き苦労話や裏話、反省話に盛り上がりました。

各分区ガバナー補佐からも「一年を振り返って」をテーマに夫々から大変貴重なお話を伺いました。皆さんからは高橋ガバナーのリーダーシップの下夫々の役割を全うしやり切った達成感を感じました。

メインは米山ガバナーエレクトへの地区旗引き渡しです。

安堵感の高橋ガバナーからちょっと緊張気味の米山エレクトへ地区旗が渡され、両者の対照的な表情が印象的でした。

地区幹事の立場からも一年間の行事や事業、運営に理解、協力頂き支えて貰った皆さんと「感謝の集いが」を開催出来たことに大変感慨深いものがありました。

全地区皆様にも心より感謝申し上げたいと思います。

ありがとうございました。





2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度 地区幹事

山田 隆一 (新潟 RC)

2022-23 年度高橋ガバナー年度が終了しました。

高橋年度はコロナ禍の影響がまだ残る時期にスタートし後半5月に「コロナ5類移行」後に終了するという経緯でした。

従いましてPETSに始まる4大事業、公式訪問も「オンライン形式」と「通常対面形式」と二本立てで準備しました。

結果的には公式訪問は70%、地区大会も含め4大事業は全て通常対面形式で開催出来、まさにコロナを警戒しつつ一応の終息と共に歩んだ一年でした。

当初より高橋ガバナーとは「今後のガバナーやガバナー輩出クラブ、或は地区出向会員の負担をなるべく軽減出来るよう、シンプルで簡潔な地区運営を目指そう」と話し合い合意していました。

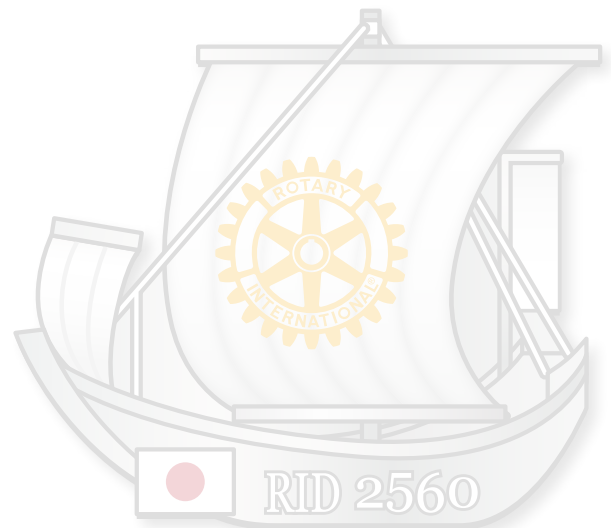
負担とは①金銭的②時間的③労力的 負担です。

その為にはコロナによるオンライン公式訪問や会議、委員会、打合せを余儀なくされたのは運営の負担軽減の面では一定の成果と前例、選択肢の一つとなったのでは、と思います。

一年間皆様からのご理解、協力に心より感謝申し上げます。

今後の地区の繁栄と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

ありがとうございました。





2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度 地区財務委員

内山 博之 (新潟 RC)

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長が掲げた「イマジンロータリー」のテーマのもと、高橋秀樹ガバナーは、地区運営方針として、「再生・新生・共生」を掲げられ、私も地区財務委員として、1年間活動してまいりました。年度が始まる直前の就任であり、果たして私で務まるものか不安しかありませんでしたが、新潟ロータリークラブの一員として、高橋ガバナーを支えつつ、第 2560 地区のすべてのクラブが円滑にロータリー活動を行えるよう、微力ながら尽力してまいりました。予算編成時においては、まだまだ COVID-19 の影響がどの程度及ぶのか分からない状況下であり、また近年会員数が減少傾向にあるため、直近の実会員数をベースに収入を算定し、その中で、前年度を踏襲する形で支出予算を組みました。年度前半は COVID-19 の影響により、ガバナー訪問もリアルとオンラインのハイブリッド開催であり、私も高橋ガバナーのアテンドで、何箇所かのクラブに訪問させていただき、傍らでクラブの課題等共有させていただきました。その節は大変有難うございました。

また、地区の 4 大大会であります PETS・地区研修協議会・地区大会記念ゴルフ大会・地区大会ですが、予定通り盛会のうちに無事実施していただくことが出来ました。改めて、素晴らしい設営をしていただいたことに対しまして、関係各位のご尽力に感謝申し上げます。

結びに、ロータリー歴も浅い私がこの地区財務委員という役職を仰せつかりまして、最も大切な予算の編成と執行にあたりまして、滞りなく進めることができたのは、地区役員の皆様はじめ、地区事務所スタッフの皆様のご協力なしでは成しえなかったことと思います。またこの経験を踏まえてロータリーに対する知識を深めることができたのは私にとっての財産であります。改めて、皆様に御礼申し上げます。1 年間有難うございました。



2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度
第 1 分区ガバナー補佐
須貝 八栄 (中条 RC)

高橋ガバナー年度を 1 年経過し振り返ってみますと、8 月上旬に下越北部の豪雨災害が発生しその対応に苦慮した事が思い出されます。ガバナーやロータリー地域協働ネットワークセンターとの連携、被災した地元クラブへの対応など。思いもよらぬ事態に直面し、戸惑いながら所属クラブの協力を得て曲がりなりにも動けたのかと思っております。

公式訪問は、ウェブでの開催と各クラブのご希望により対面での開催と両面での開催となりました。合同開催が 4 クラブ、個別開催が 5 クラブで、初めての合同開催を経験することになり戸惑いましたが、訪問クラブの協力により無事終えることが出来ました。また、自分自身がコロナに感染してしまい参加出来なかった 4 クラブには大変申し訳なく思っております。

10 月に開催いたしました IM には「コロナ禍でのクラブ活動」と題して、各クラブより 1 名ずつテーマに添って発表していただきました。特にコロナ禍の中に入会していただいた新会員に、休会や短縮例会など変則的なクラブ活動になってしまった事に対し、どのような思いで出席していたかなどを直に聞くことが出来ました。また、3 年ぶりの懇親会で親睦を深めることが出来たと思っておりますし、多くの方々から“対面開催よかったよ”と言う声を掛けていただき喜んでおります。

各クラブについては、3～4 回ほど訪問させていただきました。コロナ禍で制限のある中で、各クラブとも予定通りの活動、事業を実施されていきました。地区方針“コロナには負けない”を実践し、災害支援では“地区は助け合う”を実践出来たのかと思っております。支援、ご協力いただいた多くのクラブ、ロータリアンに感謝申し上げます。

最後に、コロナ感染も 5 類に位置づけられ通常の活動に戻りつつある今、各クラブの益々のご隆盛と、ロータリアン各位の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。



2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度
第2分区ガバナー補佐

森田 順一 (新潟南 RC)

2022-23 年度の高橋ガバナー方針は、「再生」「新生」「共生」を目標方針としてスタート致しました。年度の初めはまだコロナ禍の影響もあり、自粛ムードがまだ残り、クラブ訪問が出来ず、リモートを使い各クラブ訪問を致しました。各クラブの事業計画書を頂き、これからの運営方針を確認し問題点があった場合、対処方法を話し合い健全な運営が出来る様に話し合いました。年度後半からは徐々に自粛ムードも緩和され、ロータリー活動の問題点や活動状況を話し合う事が出来ました。当分区では早急に対処しなければならない最悪な事項は殆どありませんでしたが、各クラブの会長幹事の一番の悩みはやはり、新入会員の増員と会員の退会防止でした。会員増強をどうしたら良いのか、退会防止はどうしたら防げるのか、この問題が常に会長幹事の問題として挙げられました。その参考例として、今現在会員増強が非常に上手く行っているクラブの実例を取り入れ増強を謀りましたが、結果的には早急には大幅な増員に繋げる事が出来ませんでした。これから毎年継続してしっかりとクラブ一丸となり会員拡大をして行く事で、徐々に増員に繋がるのではないかと確信しています。今回強く感じたことは、会員入会を勧める上で、ロータリーの認知度が一般の人達には殆ど知られていない、ロータリーとは何なのか、どんな活動をして社会に何が関わっているのか、どんな人達がやっているのか、どんな組織なのか、全く知らない人が殆どで、もっとロータリーを知らせる事が入会者を増やす一番の早道ではないかと感じました。

第2分区のIMを4月1日に開催させて頂きました。勉強会は「会員増強をどうしたら良いのか」をテーマに、各会長にご登壇頂き、討論会を開催し、各クラブの成功例を話し合い会員増強に役立てて頂きました。

又、新潟中央ロータリークラブの30周年事業が5月13日に行われ、6月4日には新潟万代ロータリークラブの30周年事業が盛大に行われ、どちらのクラブも大変沢山の会員が参加し盛況の内に
行う事が出来ました。

終りに、第2分区内では会員の少ないクラブほど積極的で、会長幹事会では非常に活発で積極的な意見が多く、毎回楽しく参加させて頂きました。高橋ガバナーの方針の「再生」「新生」「共生」は9クラブ共、非常に熱心に実施し、次年度に繋がるロータリー活動に貢献して下さったと確認しております。

1年間、各クラブの会長幹事様、及び関係委員会の方々に感謝致します。ご協力頂きまして大変ありがとうございました。



2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度
第3分区ガバナー補佐
室賀 信宏 (白根 RC)

第3分区の2022-23年度の始まりは、五泉ロータリークラブの解散という大きな衝撃からのスタートでした。2560地区内では最小の5クラブ約90人の会員数です。コロナ禍とはいえ、昨年度は分区内の他クラブについてはほとんど情報共有ができていませんでした。その反省を踏まえ今年度は年度当初より、より密接な分区内の情報共有を図っていくことを、会長幹事会で確認しあいました。

このような経緯から10月1日のIMでは、是非とも懇親会を開催し、分区内の懇親を深めたいと考えました。各クラブの事情も違い、懇親会の開催は工夫が必要でしたが、おおむね好評のうち開催することができました。分区内のゴルフ大会も年2回(10月10日、6月25日)皆様のご協力により開催をすることができました。本年度、分区内の周年事業は村松RC(60周年)、白根RC(60周年)の、2クラブで開催されました。両クラブともコロナ以前と変わりなく盛況に開催されました。

今後の課題としては、分区内の会員数減少を食い止め、増加に転じることです。各クラブとも会員減少や昨今のインフレに伴い、財政状況もひっ迫しております。何とか好転させるように努力を重ねております。

最後になりますが、1年間ご協力ありがとうございました。



2023年6月25日第3分区ゴルフ大会



高橋ガバナーの補佐としての 1 年間

2022-23 年度
第 4 分区ガバナー補佐
渡邊 喜彦 (巻 RC)

本年、第 4 分区ガバナー補佐を務めさせていただきました、巻 RC 渡邊喜彦です。

2560 地区会員の皆様、そして特に我が担当地区であります第 4 分区の多くの会員の皆様、本年一年間大変お世話になりました。

思い返せば、あまり経験の無い、浅学菲才な私に、務めることが出来るだろうかと不安でいっぱいスタートでした。しかし、我がクラブの多くの会員諸兄の方々のご理解とご支援のお陰で無事何とか責務を全うすることが出来たようです。思い起こせば、心の残りは 2 つあります。

1 つは、担当分区の中で一番会員数の少ない、田上あじさい RC さんのことです。何とか私も協力し 1 名でも増員をと思い、1 日時間をつくり田上町長さんや知人の何人かを尋ね、会員増強に協力しましたが、残念ながら 1 人の入会も達成できませんでした。実際に現地に行き、回ってみまして分かったことは、ライオンズが早くから会を創設され、田上地区のほとんどの方がライオンズに入会されていたことでした。また、隣の加茂市の状況でも現市長である藤田市長さんはライオンズ、そして現田上佐野町長さんも、以前にライオンズの会員でおられたと窺いました。やはり、先手が大切と強く実感した次第です。

しかし、反面私は、巻に戻り以前ライオンズクラブの会員だった方をお誘いし、入会して頂きました。まだまだチャンスはある、と実感した次第です。特に、ライオンズクラブ退会者にターゲットを絞ることも、ありかなと。とにかく、希望を持って、また新たに取組んで行くことの大切さを学びました。

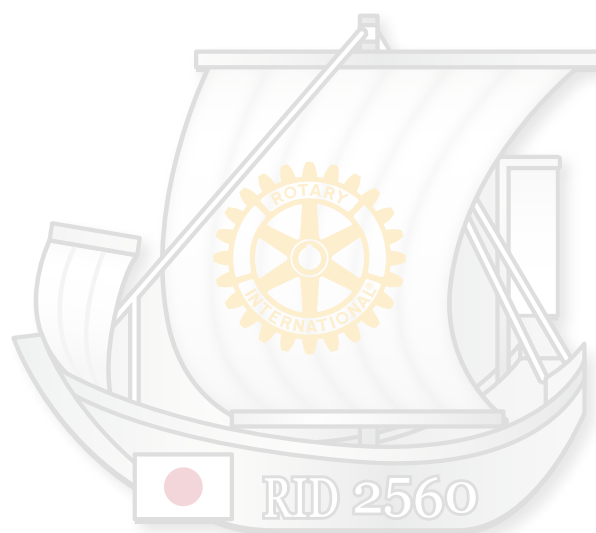
2 つ目です。それは、本年度 IM 開催にあたり、第 4 分区全体の、統一した名簿を創ろうとして、残念ながら一部の方々の反対を受け断念せざるを得なかったことです。

IM 開催にあたり、第一回の全クラブの会長、幹事の会議において、その事業の内容を説明し、作成に対する了解を求め了承して頂きました。しかし、実際に実行に移す段階で、反対が出て出来なくなってしまいました。

私は、会議で決めたことであり、無理にでも実行しようとも思いましたが、一部の方々の反対を押し切ってやっても、良い結果にはならないと判断し、断念致しました。

しかし、私はこのことを通して各会の、代表として 1 年間責任をもってそれぞれの会を運営される会長様方として、一々会に持ち帰って役員会にかけ、検討し結論を出す問題では無いのではないかと

と思います。報告事項として処理されるべき事項ではないか、と心得ます。つまり問題の処理の仕方として、会長として会議に参加して頂いたのですから、名簿の重要性をしっかりと認識され、それぞれの会で分区代理としての方針を説明し、決定事項として報告されるべきと思う点の問題が1つと。私は、2つの問題を、今後の会の運営に経験を活かし、是非我々ロータリークラブが、より素晴らしい会となります事をお祈りしながら、改めて本年度1年間の御礼とさせていただきます。ありがとうございました。





2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度
第 5 分区ガバナー補佐
品田 孝行 (柏崎 RC)

高橋ガバナー年度の結団式、2021.10.22 から早いもので1年8ヶ月が過ぎました。COVID-19 の最中で行動制限がある状態でのスタートでした。各分区 AG の皆様や地区役員の皆さんの例会の様子等々のお話の聞き、活動するにあたり大変参考になりました。

ジェニファー・ジョーンズ RI 会長テーマ「イマジン ロータリー」、第 2560 地区高橋ガバナー地区運営方針「再生・新生・共生」の基に5分区7クラブの事前訪問、公式訪問をさせていただきました。公式訪問では、2クラブが「対面」、5クラブが「リモート」形式でした。「リモート」では、音声トラブルやフリーズが起こる場面もありましたが各クラブ会長、幹事さんクラブメンバーの対応も良く RI 会長のテーマや地区運営方針もよく理解されていて特に問題もなく会議が行われたと思います。

今年度柏崎 RC は、IM と 70 周年事業がありました。IM では、「イマジン ロータリー」を意識した取り組みで題して「アニメで想像しよう新しい地域の可能」でアニメーターの方に講演をして頂き後に、クラブメンバーが所属する団体が NHK で放映されました。柏崎 RC 「70 周年記念行事」では、スポンサークラブである東京 RC へ訪問し会長、幹事に出席依頼をしたところ快諾して頂き式典を盛り上げて頂きました。また、パストガバナー故植木康之氏が長年会長をされてました「国指定重要無形民俗文化財 綾子舞」がユネスコに登録され「記念事業」として今後の「綾子舞」の伝承活動のために支援金を贈呈させていただきました。今年度は、周年記念式典を執り行う RC が例年になく多かったのでないでしょうか。

初めて AG を経験させて頂き、学ぶことばかりでした。高橋ガバナーはじめ地区役員の皆様、事務局の皆様、分区 AG の皆様、第 5 分区の皆様にご支援協力して頂いたことに感謝いたします。ありがとうございました。



2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度
第6分区ガバナー補佐
富山 洋 (雪国魚沼 RC)

一年間ありがとうございました。

当初ガバナー補佐は勿論、地区の役員も経験がなかったので、暗中模索状態であり、せいぜい区内クラブ訪問とIM、ガバナー公式訪問くらいしかイメージできていませんでした。

2022年3月26日にPETSで初めて各クラブの会長幹事さんとお会いし、分区セミナーを開催した際にはガバナー方針である「再生」、「新生」、「共生」をお伝えしたのち、各クラブの現状をお話し頂いた際には、会員減少などの理由でクラブの存続が危ぶまれているなどの深刻な課題があり、どうしたら良い方向に向かうのか、助け合えるのか「共生」を模索していました。

結局それから例年通り各クラブ訪問となるわけですが、今までメイキャップもあまりしたことが無く他クラブのことはよく知らなかったもので、自分のクラブがスタンダードであると思い込んでいました。訪問して初めて各クラブの例会の進め方がそれぞれ違うことに気づき、進行だけでなく各クラブの雰囲気もそれぞれあり、実に多様で自主的な団体なのだと思いました。1回目の訪問で皆様にご挨拶し、残念ながら全員とはいきませんでした。区内会長幹事さんでLINEグループをつくり情報伝達のスピード化、密なコミュニケーションを図りました。IMでは多くの方から参加頂き、観光を切り口に各地区とクラブの取組みや魅力を語り合いました。計画から設営まで多くの仲間から助けをもらいありがとうございました。お陰様で今まで知らなかった様々なことを学ぶことができました。

終わりに、まったく至らぬガバナー補佐でしたが皆様のご指導の下、なんとか任期を全うできたこと本当に感謝いたします。





2022-23 年度を振り返って

2022-23 年度
第 7 分区ガバナー補佐

本山 秀樹 (高田 RC)

国際ロータリー第 2560 地区第 7 分区ロータリアンの皆様そして高橋ガバナーはじめ地区役員の皆様には、一年間大変お世話になり感謝申し上げます。

さて、高田ロータリークラブの歴代会長会議で推薦、指名され 2022-23 年度第 7 分区ガバナー補佐をお引き受けしましたが、大谷年度の地区幹事として当時のガバナー補佐の皆様の活動を間近に見てきた私としては、ガバナー補佐が務まるかどうか大変不安でした。しかし、PETS、地区研修協議会と地区の行事が続く中で次第に第 7 分区内の会長、幹事との繋がりも出来、その後の高橋ガバナーの各クラブへの公式訪問を経て一層各クラブの現状を知ることが出来ました。そして、各クラブのロータリアンとの絆も醸成出来たように思います。

高橋ガバナーの掲げた地区目標の「再生・新生・共生」をガバナー補佐として事有るたびに第 7 分区のロータリアンに話をし、各クラブの状況把握と親睦を深めてきました。2022-23 年度は、3 年目に入った COVID-19 の影響が続き、各クラブとも計画した活動が思うように出来なかったと思います。10 月に計画した第 7 分区 IM 記念ゴルフ大会、IM 本大会とも最後の最後までホストクラブの高田ロータリークラブと開催の是非について協議しました。幸いにも COVID-19 の第 7 波と第 8 波との間の小康状態の中で開催をフルスペックで行うことが出来ました。この IM には、第 7 分区 7 クラブから 130 名を超えるロータリアンの皆様からご出席をいただきました。COVID-19 も 3 年目に入りロータリー活動も制限される中、感染予防に万全を期しリアルで開催され、第 7 分区の会員が一同に会しロータリーの友情を深める機会を持てました。そして、最後の「手に手つないで」を全員で合唱出来たことは喜ばしい限りでした。

結びに、この 1 年間にお会いした全てのロータリアンに感謝し、この貴重なガバナー補佐の経験を今後のロータリーライフに活かし、クラブと地域のために貢献できればと考えています。感謝。



会員増強・戦略計画・広報委員会

2022-23 年度 委員長

石本 隆太郎 (新潟 RC)

はじめに

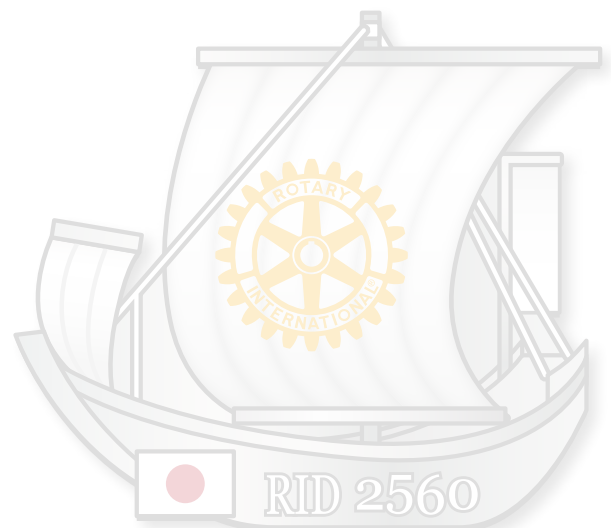
- 1・新型コロナウイルス感染症のため、「地区会員増強セミナー」は2020～21年の佐藤ガバナー年度から2021～22年の高尾ガバナー年度も中止せざるをえませんでした。2022～23年の高橋ガバナー年度に入り、コロナも終息に向かっているとの判断から、PETS、地区研修協議会や各委員会セミナーは、対面式と事前のビデオ配信による研修等を併用して、ようやく正常化に向かい始めました。
- 2・2022年3月26日のPETSにおいては、クラブ会長予定者を対象に、会員増強、戦略計画、広報公共イメージに関するアンケート調査を実施すると共に、2022年5月21日の地区研修協議会において、事前に地区内全クラブ事務局宛、1992～93年の栗山ガバナーから2021～22年の高尾ガバナー年度までの約30年間にわたる地区内全クラブの会員数順一覧表（会員増強・クラブ別健康診断書）をメール送信させていただき、各クラブの現状分析の参考資料としていただきました。
- 3・2022年5月21日の地区研修協議会において、地区内各クラブの会員増強委員長対象に前記資料を基にした会員増強に関する基調講演をビデオ配信で行いました。従来であれば、各セッション毎に1時間程度の分科会を開催するところですが、コロナ禍による対面での会合が出来ない時期であり、高橋ガバナーにとりましては、“苦渋の決断”であったと思います。
- 4・2022年7月より高橋ガバナー年度に入りましたが、7月30日には会員増強委員長を対象にして、3年ぶりに「地区会員増強セミナー」を対面式で開催することが出来ました。
午前の部でガバナー補佐の会員増強に対するオリエンテーション。午後の部では、会員増強委員長対象に基調講演や、会員増強事例報告、分區別に分かれてのブレインストーミングを行いました。
- 6・以上の件につきましては、その都度、ガバナー月信等で報告済みでありますので省略致します。

高橋ガバナー年度から米山ガバナー年度における会員増強の現状について

- 1・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ始め、日常生活も徐々に正常に戻りつつある中、2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の法的位置付けがインフルエンザ等と同じ「5類」に移行し、ロータリーの地区活動や各クラブの活動も正常に戻りつつあります。

- 2・2023年7月より米山ガバナー年度に入り、7月1日現在の当地区全クラブ会員数も確定しました。参考資料改訂版を作成し、2023年7月29日に「クラブ活性化セミナー」と名称も一新し、昨年同様、ホテルオークラ新潟を会場として開催することが出来ました。
- 3・当日の様様については、ガバナー月信「9月号」に、大澤 力戦略計画委員長が報告書を掲載する予定になっております。
- 4・7月29日の「クラブ活性化セミナー」用参考資料（会員増強クラブ別健康診断書）資料・3は、2020～21年の佐藤ガバナー年度から、2023～2024年の米山ガバナー年度までを1ページに再編集し、コロナ禍の影響を見やすくしてあります。（改訂版資料は、クラブ事務局にメール配信の予定。）
- 5・高橋ガバナー年度の7月1日現在、五泉クラブのクラブ終結により、当地区は54クラブとなり、高尾ガバナー年度との比較では、会員純増クラブが18に対して、会員減少クラブが31もあり、クラブ規模の大小に関わらず、会員減少クラブの増加が気がかりでありました。
- 6・地区全体の会員数比較も、佐藤ガバナー年度から高尾ガバナー年度にかけて2,074名から2,000名と74名も会員が減少。高尾ガバナー年度から高橋ガバナー年度にかけても2,000名から1,959名と41名も会員減少しており、コロナ禍の影響が大であったと推定出来ます。
- 7・高橋ガバナー年度に入りコロナ感染も落ち着きを見せ始め、地区や各クラブ活動も徐々に正常に戻りつつあり、高橋ガバナー年度と米山ガバナー年度の比較では、会員純増クラブ27クラブに対して、会員減少クラブ17クラブと好転しました。地区全体の会員数も、高橋ガバナー年度の1,959名から、米山ガバナー年度にかけては1,990名となり、31名の純増に転じました。
- 8・しかし、高橋年度と石本年度の比較では、会員数が中規模以下のクラブで25%以上も会員減少しているクラブもあり、特に注目すべきは、新設クラブ設立要件の会員20名未満クラブの中で、この12年間で会員数が半減したクラブも出ており、今後の動向が懸念されます。
- 9・クラブ規模の大小によりクラブ間格差は益々顕著となっており、早急に抜本的対策を打つ必要がありますが、残念ながらそうした問題クラブに限って、セミナーは不参加となるケースが多く、地区会員増強委員会としては手の打ちようがありません。
- 10・ガバナー公式訪問時や各分区ガバナー補佐のクラブ訪問の際に、そうしたクラブの実情を十分把握していただき、親身になってアドバイスし、フォローしていただくことを期待しております。
- 11・ロータリーは会員の多くが経済人の集まりであり、これまでも“バブル経済崩壊”や度重なる自然災害、さらにグローバル化による地場産業の衰退や我国における人口減少問題等々、様々な問題に直面してきました。
- 12・今回の感染症との戦いや、ロシアのウクライナへの軍事侵攻に見られるように、国家間紛争も頻度が増しており、ロータリー活動に与える影響は計り知れないものがあります。
- 13・こうした中で、地域社会に密着したロータリーの果たすべき役割は決して小さくありませんが、そのためにも、「会員増強」は欠かすことの出来ない最重要事項であります。

- 14・ロータリー活動も年々多様化していますし、活動の基となるクラブの歴史や会員規模は様々で、会員増強の面においても、どのクラブにも効く等という“特効薬”のようなものはありません。
- 15・人間であれば「成人病」の治療と同様、もし、自クラブの会員増強が上手く行ってないならば、その原因はどこにあるのかトコトン追求し、問題点を自ら解決する努力が必要であります。
- 16・そのためには、まず自クラブの現状を把握し、問題点があれば目標値を明確にし、目標達成のためにはどのようなスケジュールで取り組むか。その具体的方法を計画に織り込みながら、会員全員が共通の認識を持って取り組む。時代の変遷と共に、会員増強に“長期的戦略計画の必要性”が生じた理由はそこにあります。
- 17・ロータリーには「クラブ会長の任期1年制」という“縛り”があるため、長期的な戦略計画の立案～実行には困難が伴うと思いますが、会長経験者や地区役員経験者に、若手会員や女性会員からも加わっていただき、長期的にことを勧めることが大切であります。
- 18・地区会員増強委員会といたしましても、毎年開催する地区研修協議会やクラブ活性化セミナー等を通じて、「会員増強を効果的に進めるための情報提供の場」を提供して行きたいと念願しておりますので、これからも皆様の積極的な参加を心からお願い致します。





職業奉仕委員会

2022-23 年度 委員長

馬場 伸行 (新潟西 RC)

2022-23 年度を振り返りますと PETS、地区研修協議会での分科会ビデオ撮影で始まり、1月の職業奉仕月間に第7分区で卓話1回(動画にて)、第4分区で卓話1回、第2分区で卓話1回、ガバナー月信への寄稿といった活動がありましたが、やはり COVID-19 の影響が全ての活動に影響する一年間でした。

しかしながら、年度開始当初からその影響を考慮し、各クラブの職業奉仕委員長さんが自クラブで自ら卓話や職業奉仕フォーラムを実践できるよう、必要な資料を全て地区 HP 内の委員会ページからダウンロード出来るように工夫をしました。職業奉仕卓話のパワーポイントや動画も作成し、準備をしました。残念ながら「そういった資料を自クラブで活用された」というご意見を伺う機会や方法がありませんので、有効だったのかは判りませんが、1つだけ功を奏したのがありました。

それは 2023 年 1 月 25 日、そう大雪で高速道路も使えないほどの交通障害があった日です。卓話を依頼されたクラブへ伺えなくなったので、事前に作成した職業奉仕卓話の動画をメール(ファイル便)でお送りしダウンロードしてもらい、急遽例会にて上映して頂きました。そのクラブからはご丁寧な会員さんからの感想文と、例会での様子の写真や週報が送られてきました。怪我の功名と申しますか、今後の卓話の1つの方法として、ご紹介する次第です。

一年間、大変ありがとうございました。





国際奉仕委員会

2022-23 年度 委員長

徳永 昭輝 (新潟 RC)

コロナ感染の影響のために先の読めない状況の中で、委員会の活動方針として①海外の姉妹クラブ・友好クラブの交流の促進、②グローバル補助金を使った海外での奉仕プロジェクト活動の促進、③交際奉仕フォーラムの開催、④メルボルン国際大会への参加を掲げ活動しました。

高尾年度で実施した地区のグローバル補助金・地区補助金事業や海外の姉妹、友好クラブに関するアンケートと調査をもとに、高橋年度でも令和4年8月20日(土)、ANAクラウンプラザホテルで国際フォーラム・ディスカッションを対面で開催することができました。

海外友好・姉妹クラブに関する活動状況：新発田 RC・直江津 RC・柏崎 RC から、グローバル補助金事業・地区補助金事業については新発田中央 RC・高田 RC・新潟南 RC からコロナ感染の影響のある中でも工夫しながら取り組んだ報告がされました。また、高橋ガバナーから米山奨学生やグローバル補助金奨学生との連携が国際奉仕事業を行う「キーワードになる」といった発言もあり、コロナ禍における国際奉仕活動には多くの制約があると思いますが、多くのクラブが国際奉仕活動に取り組めるような情報提供を行うことが重要であることを確認するフォーラムになったと思っています。

また、高尾年度ではヒューストン国際大会への参加を断念せざるを得ませんでした。高橋年度ではメルボルン国際大会(2023. 5.27. ~ 31. アースとラリア;メルボルン)への参加ツアーを企画し実行することができました。現地では5月28日にガバナーナイトを開催し22名のロータリアン・家族が参加し楽しい時間を過ごすことができました。(2560地区からは24名のロータリアン・家族が登録参加)。

各クラブからのご協力に感謝いたします。



ジェニファー E. ジョーンズ
2022-23年度 国際ロータリー会長

That is why entering into this area, walking through the connecting each others, gives us pause.
A chance of action, people of purpose, people crafting.



2023. 5. 28.
ガバナーナイト



ツアー参加者



高橋ガバナーと国際奉仕委員会：徳永・小柳



青少年奉仕委員会

2022-23 年度 委員長

関根 功雄 (白根 RC)

5月8日より COVID-19 が 5 類感染症に引き下げられました。高橋年度は勿論これを待たずに、十分に感染症対策に留意し、各小委員会は確実に前進し続けた 1 年であったと思います。

1. インターアクト委員会

2020 年以来中止していた年次大会を、今年度は新潟明訓高校をメイン会場とし、「バーチャルキャンパス方式」で開催しました。残念ながら台湾研修は中止となりましたが、米山年度での開催を期待します。

2. ローターアクト委員会

今年度の地区行事は、田巻地区代表指導のもと、原則オフラインへ。10月の清掃活動とバーベキュー。3月の地区大会を経て、5月には3年振りの群馬・新潟合同行事を開催。今年度はほぼ COVID-19 前の状況に戻りました。

また、三条、白根、新発田が 50 周年を迎えました。記念式典・祝賀会と大変忙しい年度でしたが、盛大にお祝いすることができました。

3. ライラ委員会

前年同様のオンライン研修でしたが、講師はメイン会場での講演となりました。

4. 青少年交換委員会

COVID-19 の影響を一番に受けた委員会。今年度の交換学生はおりませんでした。米山年度での交換事業再開を決定していただき、派遣学生募集とオリエンテーションを再開しました。米山年度では長期交換学生 1 名と、短期交換学生 2 名を送り出します。

「新生」として、PETS で新規インターアクトクラブ、大学基盤のローターアクトクラブを設立するという目標を掲げましたが、これに関しては道半ば。今年度で委員長は卒業しますが、引き続き微力ながら協力していきたいと思っています。

地区ロータリアンの皆様、1 年間お世話になりました。





ローターアクト委員会

2022-23 年度 委員長

相場 弘介 (三条 RC)

2019-20 年度から地区ローターアクト委員会に関わらせていただき、3年目の今年度は小委員長という大役を拝命致しました。過去2年間とは違い、その責務を全うすべくまずは出来る限り事業や会合に参加しようと心掛け何とかここまで辿り着く事が出来ました。

年度当初は今年度から正式施行となったローターアクトクラブの地位向上について自分自身の理解を深めることや関係する皆様への説明にしばらく注力しておりましたが、幸いにして COVID-19 による行動制限も緩和傾向にあった事から地区ローターアクト田巻代表の方針のもと、早々から対面での会議やいつも通りの楽しい事業を手探りの中とは言え実施できたことがとても良い経験をさせていただいたと共に私も楽しみながら前向きに取り組むきっかけとなり良いスタートが切れました。

そして年度後半に向け政府方針としても具体的にマスクやウイルスの扱い自体の緩和もあり、各ローターアクトクラブの周年祝賀会や地区大会、更には全国研修会や群馬新潟合同行事と COVID-19 禍を払拭するほどの盛り上がりを見せる事業に参加することが出来ました。

その殆どに地区役員のアクター達とともに事業計画や予算配分等から関わられたことは大変光栄であり、アクターの若い発想やバイタリティをととても学ばせていただくことが出来ました。

一言でいえば、大役ではありましたがとても学びの多い良い一年を過ごさせていただいたと感じております。加えて、ローターアクターの情熱を肌で感じられる、ローターアクトクラブ活動の素晴らしさを再認識できた一年でありました。

これまで地区青少年奉仕委員長の関根様をはじめ、ローターアクト委員会二年目の安田委員、地区事務所事務局の皆様、所属の三条ロータリークラブの皆様、挙げればきりが無い程の多くの皆様からご理解とご協力をいただきこの一年を全うする事ができました事に改めまして感謝申し上げます。また至らない点多々ありました事をこの場をお借りしお詫び申し上げます。

この地区運営に関わった三年間の経験を、引き続き提唱クラブは勿論のこと地区内すべてのローターアクトクラブの発展に努めていく事でロータリー五大奉仕のひとつである青少年奉仕活動に活かしていきたいと考えております。

今後とも、ローターアクトクラブ活動にロータリアンの皆様の温かい友情とご理解、ご協力をいただきたくお願い申し上げます、この一年の結びとさせていただきます。



青少年交換委員会

2022-23 年度 委員長

坂上 彰平 (豊栄 RC)

高橋年度の冒頭、COVID-19の影響でプログラムの再開は難しいと言われておりました。派遣学生が途中で帰国した大谷年度から、二年間派遣学生も無い年度を過ごしてきました。子供たちの安全が脅かされる事は出来ないと私もそう思います。COVID-19が終息し始めた時に他の地区ではプログラム開催している地区も出始めました。私は、このまま本年度このプログラムを開催できないと子供たちのチャンスを潰してしまうのではないかと思います。高橋ガバナーと米山ガバナーエレクトに相談してみました。クラブの推薦がしっかり出来ている学生、また COVID-19が拡大したら中止もあります等の条件で募集を再開する事に承諾を頂きました。高橋ガバナーと米山ガバナーエレクトの決断に大変感謝いたしました。

募集を再開しましたが、二年間のブランクはなかなか難しい事もありました。長期派遣学生の募集が1名しかありませんでしたが、選抜試験を実施する日程調整、オリエンテーション開催の手順など、委員会のメンバー、委員会事務局、ROTEX、地区事務局、の協力で4回無事に終える事が出来ました。その中でもROTEXの活躍が目に見えるものがあります。本年度全国青少年交換研究会新潟大会が開催された際に、ドイツに派遣した飯塚千尋さんが「ROTEXがつなぐウクライナ支援」の公演をし、他のROTEXは、エクスカーションのサポートをしROTEXナイトの報告のまとめをして頂きご苦勞をお掛けしました。大変感謝しております。

この様に色々な方々に力を貸してもらい高橋年度で長期派遣学生1名短期派遣学生2名を派遣出来る事を感謝いたします。



ロータリー財団委員会

2022-23 年度 委員長

佐藤 真 (村上岩船 RC)

地区ロータリアンの皆さまには、日頃よりロータリー財団委員会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。「世界でよいことをしよう」という標語を掲げロータリー財団は世界で活動しています。その使命は、「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の良い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を無くすことを通して、世界理解、親善、平和を構築できるように支援すること」です。その使命を胸に当委員会は活動することができました。皆様に感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

【2022-23 年度委員会報告】

1. 委員会活動

- ・ 7/23 補助金オリエンテーション、8/27 第1回財団セミナー、2/18 第2回財団セミナー&補助金管理セミナーを開催し、地区補助金、グローバル補助金やロータリー財団についての理解に努めました。
- ・ 10月のロータリー財団月間には委員が手分けして多くのクラブで卓話を行いました。
- ・ 11/12-13 地区大会においてブースを設置しポリオ根絶にむけたPR活動を実施しました。
- ・ 7/23 と 5/21 にグローバル奨学生のオリエンテーションを実施しました。
- ・ 6/25 に学友会総会を実施し、皆さんから貴重な体験談を伺いました。
- ・ 年間7回の財団ミーティングを実施し、情報の共有やセミナー等の準備やプロジェクト進捗状況等の打合せ等を行いました。

2. 地区の寄付実績 (令和5年6月末)

- ・ 年次基金 127.61ドル/人 ポリオプラス 25.70ドル/人
- ・ 地区内の全クラブから年次基金の寄付をいただきました。(ゼロクラブ・ゼロの達成)

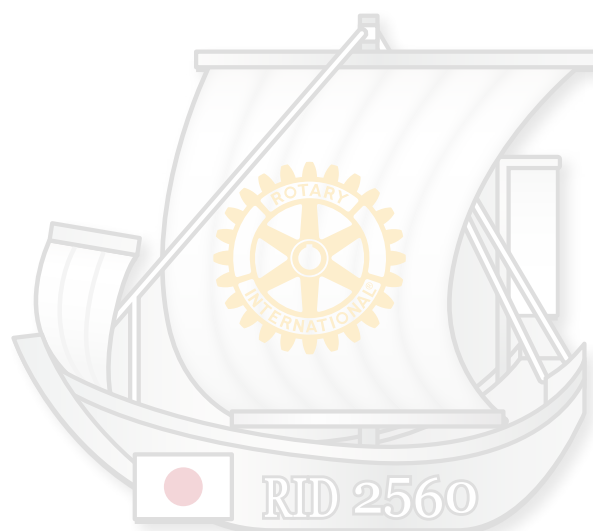
3. 地区財団活動資金（DDF）報告

☆地区補助金：35 クラブから 36 件の奉仕プロジェクトが実施されました。

☆グローバル補助金：3 件の奉仕プロジェクトと 3 件の奨学金を採択しました。

- ・新発田 RC：タイ国「病院に迅速な誘導低体温装置寄付」
- ・新潟南 RC：台湾「台湾、南投山地の医療提供改善プロジェクト」
- ・新潟中央 RC：タイ国「疾病の認識・予防教育・治療」
- ・高田 RC：イギリス「グローバル奨学生・エセックス大学」
- ・新潟 RC：オーストラリア「グローバル奨学生・メルボルン大学」
- ・新潟南 RC：オランダ「グローバル奨学生・エラスムス大学」

☆寄付：ポリオプラスに 2 万ドル、ロータリー平和フェローシップに 1 万ドル、トルコ・シリア地震の災害救援基金とパキスタン洪水への復興支援に各 1 万ドルを寄贈しました。





米山記念奨学委員会

2022-23 年度 委員長

渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

第 2560 地区の皆様におかれましては、米山記念奨学委員会活動にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

2022-23 年度は新規 18 名・継続 10 名合計 28 名 (10 カ国・8 大学) の奨学生を受入れスタートいたしました。これも皆様からのご寄付のお陰でございます。そして彼らに寄り添い心身ともに支えてくださったカウンセラー・世話クラブの皆様、お引き受けそしてお世話していただきありがとうございました。皆様のご理解とご協力に感謝し御礼を申し上げます。ありがとうございました。

高橋ガバナーの元、米山委員会一丸となって日本に勉学のために来日している留学生に安心して勉強する環境を整えられるよう、またロータリアンと交流できるよう活動して参りました。年度を通してコロナ感染症の規制は続きましたが、年間の米山事業は中止をすることなく、セミナー・オリエンテーション等 14 の委員会活動と 5 つの学友会活動を実施致しました。(米山記念奨学事業については月信の 9・11・12・2・3・4・5・6 月号に掲載)

4 月に新しい奨学生を迎え、8 月に開催した指定校説明会から高橋ガバナー年度の委員会活動が始まりました。恒例の 8 月の奨学生親睦交流会はコロナの為オンライン交流会となりましたが、やはりリアルで交流してもらいたいとコロナの規制も緩和された 10 月に改めて湯沢方面への親睦交流会を実施することができました。

高橋ガバナーにもご参加いただき、奨学生・カウンセラー・学友・委員と意見交換や交流をしながら親睦を深め楽しく意義のある親睦交流会となりました。なかでも奨学生とカウンセラーさんが協力し蕎麦打ちをし皆で食べた昼食は良い思い出となっているようです。

また当地区では学友会活動が休止状態であった為、9 月には新たに学友同士また奨学生との交流を目的として交流会を開催し、その後下山中学校との交流会・国際料理交流会・クリスマス会・VR 体験と国々のお正月料理交流会等、米山学友と奨学生の交流も盛んに行い、奨学生卒業後も交流をしていけるよう活動いたしました。

米山記念奨学生を受入れ、事業ができたのも皆様からの心のご寄付、協力のお陰でございます。寄付増進に努めていただきましたクラブ会長及び米山奨学委員長はじめ、ご寄付・ご協力いただきましたロータリアンの皆様にご感謝申し上げます。今後とも引き続き皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

また、地区米山委員の皆様にもお忙しい中、多いときには月に3-4回行われる委員会活動にご協力いただき支えて頂きました。皆様のお陰で1年間活動できました。感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、1年間ご支援いただきました全てのロータリアンの皆様に御礼を申し上げて、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。







ロータリー地域協働 ネットワークセンター

2022-23 年度 センター長

清水 信博 (高田東 RC)

高橋年度では、2年目のセンター長を仰せつかりました。2年目という事、少し自分の力を過信していたのかも知れませんが、昨年8月の村上市を中心とした県北水害に際しては、全くと言って程、無力だった自分を痛感しております。

いざ、あのような災害が目の前に現実に発生すると、どう対処していけば良いのか、混乱しました。高橋ガバナーをはじめとする地区役員の皆様とどのように情報交換していけば良いのか、具体的な手法を見つけられず、悩まされた日々が続きました。

「あの水害時の最中、「共助」として地区やセンターが支援するべき事はあったのか？」

『「自助」として、被災クラブで頑張る部分はあったのか？』

全ての支援は地区やセンターで解決できるわけではありません。また逆に被災クラブでは対応出来ない課題もあります。被災クラブで対応出来ない事は、全面的に地区・センターが支援していかなければなりません。この線引きが大変難しく、状況が分からない中で、被災地も混乱した中で、判断が求められます。1年を経過した今、改めて検証していかなければならないと考えています。

そして、今後起こり得る大震災や広域的な大水害に対し「何が出来るのか!!」を常に考えていかなければなりません。まだまだ、仕組みが整っていません。クラブや地区役員からも認知されていません。時間はかかりますが、少しずつ、センターの構築に努力していきたいと考えます。

そのような危機意識の中、昨年9月に開催された「高橋年度防減災セミナー」は、力強い感触を得ました。ガバナー補佐・地区役員を始め、クラブ連絡員の皆様の関心の高さは、出席率の高さでも感じ取ることが出来ました。もし、自分の地域が被災したなら、自身のクラブはどう動けばよいのか、どう地区に支援を求めるのか、他のボランティア団体との連携はどうしていけば良いのかなど、課題を多く発見できた事と思われまます。

「常在戦場」を常とし、日頃から危機意識を持ちながら、もしもの時の対応をこれからも考えていきます。2022-23年度、様々な皆様からご協力を頂きながら終了いたしました。大変ありがとうございました。大きな災害がない事を心より祈りつつ、米山年度もしっかり対応していきます。



		ロータリー財団寄付						ロータリー米山記念奨学会寄付					
分区	クラブ名	会員数 (22/07/01)	年次基金 一人当り 寄付額 (\$)	2022年7月1日-2023年6月30日 (\$)			合計	会員数 (23/01/01)	一人当たり 平均寄付額 (¥)	普通寄付金 単価(年額)	2022年7月1日-2023年6月30日 (¥)		
				年次基金 総計	その他 の基金	恒久基金					普通寄付金	特別寄付金	合計
R-1 第2560地区	第1分区	372	144.43	53,728.74	14,298.58	0.00	68,027.32	377	19,881	☆	2,025,000	5,470,000	7,495,000
	第2分区	426	120.79	51,455.17	20,584.18	2,000.00	74,039.35	445	16,961	☆	1,748,000	5,799,610	7,547,610
	第3分区	89	139.67	12,430.52	2,233.80	0.00	14,664.32	91	20,204	☆	364,000	1,474,550	1,838,550
	第4分区	352	116.22	40,910.62	7,665.76	0.00	48,576.38	360	17,564	☆	1,372,000	4,951,000	6,323,000
	第5分区	291	118.69	34,537.62	7,692.14	115.94	42,345.70	295	18,424	☆	1,172,000	4,263,050	5,435,050
	第6分区	120	134.70	16,163.43	3,405.00	0.00	19,568.43	118	16,604	☆	585,280	1,374,000	1,959,280
	第7分区	313	131.86	41,272.05	9,347.81	1,025.07	51,644.93	313	18,137	☆	1,638,000	4,038,900	5,676,900
	合計	1,963	127.61	250,498.15	65,227.27	3,141.01	318,866.43	1,999	18,146	☆	8,904,280	27,371,110	36,275,390
第1分区	新発田	88	154.97	13,637.00	6,870.00	0.00	20,507.00	89	20,011	10,000	885,000	896,000	1,781,000
	村上	38	116.75	4,436.44	853.11	0.00	5,289.55	39	16,307	4,000	156,000	480,000	636,000
	水原	33	150.00	4,950.00	1,088.97	0.00	6,038.97	32	18,500	4,000	130,000	462,000	592,000
	中条	44	169.79	7,470.55	1,103.00	0.00	8,573.55	47	30,638	4,000	176,000	1,264,000	1,440,000
	新発田 城南	38	84.58	3,214.00	431.00	0.00	3,645.00	38	14,000	4,000	152,000	380,000	532,000
	豊栄	23	142.36	3,274.26	690.00	0.00	3,964.26	23	18,782	4,000	92,000	340,000	432,000
	新発田 中央	45	160.00	7,200.00	1,440.00	0.00	8,640.00	46	19,956	4,000	182,000	736,000	918,000
	中条胎内	36	122.33	4,403.97	1,012.55	0.00	5,416.52	36	17,111	4,000	144,000	472,000	616,000
	村上岩船	27	190.46	5,142.52	809.95	0.00	5,952.47	27	20,296	4,000	108,000	440,000	548,000
	新潟	79	102.97	8,134.65	2,431.00	2,000.00	12,565.65	89	9,960	4,000	316,000	570,500	886,500
第2分区	新潟東	63	159.98	10,078.72	3,725.00	0.00	13,803.72	64	13,625	4,000	252,000	620,000	872,000
	新潟南	108	131.09	14,157.97	6,787.29	0.00	20,945.26	113	18,009	4,000	432,000	1,603,110	2,035,110
	佐渡	5	110.00	550.00	0.00	0.00	550.00	5	22,400	4,000	20,000	92,000	112,000
	新潟西	38	97.13	3,690.92	2,395.89	0.00	6,086.81	40	21,125	4,000	152,000	693,000	845,000
	佐渡南	38	57.68	2,191.87	1,635.00	0.00	3,826.87	38	10,105	4,000	154,000	230,000	384,000
	新潟北	35	53.14	1,860.00	0.00	0.00	1,860.00	37	20,810	4,000	140,000	630,000	770,000
	新潟中央	18	236.84	4,263.16	2,610.00	0.00	6,873.16	18	32,666	4,000	72,000	516,000	588,000
	新潟万代	42	155.43	6,527.88	1,000.00	0.00	7,527.88	41	25,731	5,000	210,000	845,000	1,055,000
	新津	18	62.70	1,128.57	0.00	0.00	1,128.57	16	12,187	4,000	68,000	127,000	195,000
	村松	10	180.16	1,801.59	360.75	0.00	2,162.34	12	6,666	4,000	48,000	32,000	80,000
第3分区	白根	30	167.13	5,014.00	990.00	0.00	6,004.00	31	24,580	4,000	122,000	640,000	762,000
	新津中央	26	153.76	3,997.66	883.05	0.00	4,880.71	26	29,213	4,000	104,000	655,550	759,550
	阿賀野川 ライン	5	97.74	488.70	0.00	0.00	488.70	6	7,000	4,000	22,000	20,000	42,000
	三条	55	78.30	4,306.66	1,585.32	0.00	5,891.98	57	20,052	4,000	224,000	919,000	1,143,000
	燕	33	65.12	2,148.84	350.00	0.00	2,498.84	35	8,600	2,000	68,000	233,000	301,000
第4分区	加茂	32	59.38	1,900.00	210.03	0.00	2,110.03	29	11,724	4,000	120,000	220,000	340,000
	三条南	35	114.29	4,000.00	1,260.00	0.00	5,260.00	39	18,589	4,000	160,000	565,000	725,000
	分水	29	85.29	2,473.52	0.00	0.00	2,473.52	28	20,142	4,000	114,000	450,000	564,000
	見附	21	123.81	2,600.00	200.00	0.00	2,800.00	20	6,300	4,000	84,000	42,000	126,000
	吉田	28	51.61	1,445.00	840.00	0.00	2,285.00	28	8,785	4,000	112,000	134,000	246,000
	三条北	55	318.96	17,542.99	2,007.84	0.00	19,550.83	53	38,301	4,000	214,000	1,816,000	2,030,000
	巻	25	79.12	1,978.07	390.81	0.00	2,368.88	27	15,740	4,000	100,000	325,000	425,000
	田上あじ さい	7	30.61	214.26	0.00	0.00	214.26	7	6,000	5,000	30,000	12,000	42,000
	三条東	32	71.92	2,301.28	821.76	0.00	3,123.04	37	10,297	4,000	146,000	235,000	381,000
	長岡	44	160.80	7,075.21	1,380.00	0.00	8,455.21	46	20,347	4,000	180,000	756,000	936,000
第5分区	柏崎	40	79.73	3,189.02	1,260.00	0.00	4,449.02	41	14,768	4,000	164,000	441,500	605,500
	長岡東	52	170.38	8,859.75	1,524.64	0.00	10,384.39	55	20,909	4,000	214,000	936,000	1,150,000
	柏崎東	43	66.42	2,856.06	1,290.00	0.00	4,146.06	43	12,883	4,000	174,000	380,000	554,000
	栃尾	24	137.50	3,300.00	660.00	0.00	3,960.00	22	20,000	4,000	88,000	352,000	440,000
	長岡西	49	155.82	7,635.41	1,478.48	115.94	9,229.83	49	25,020	4,000	196,000	1,030,000	1,226,000
	柏崎中央	39	41.59	1,622.17	99.00	0.00	1,721.19	39	13,424	4,000	156,000	367,550	523,550
第6分区	十日町	31	187.10	5,800.00	990.00	0.00	6,790.00	33	19,545	5,000	155,000	490,000	645,000
	小千谷	28	171.39	4,798.85	1,365.00	0.00	6,163.85	28	14,285	6,000	168,000	232,000	400,000
	雪国魚沼	25	114.40	2,860.00	390.00	0.00	3,250.00	26	14,807	5,000	125,000	260,000	385,000
	十日町北	14	57.46	804.44	210.00	0.00	1,014.44	14	17,428	4,000	56,000	188,000	244,000
	津南	16	75.01	1,200.14	240.00	0.00	1,440.14	11	21,454	4,000	46,000	190,000	236,000
	越後魚沼	6	116.67	700.00	210.00	0.00	910.00	6	8,213	5,380	35,280	14,000	49,280
第7分区	高田	70	151.48	10,603.87	2,924.43	0.00	13,528.30	70	18,142	4,000	230,000	1,040,000	1,270,000
	直江津	71	152.16	10,803.38	2,160.00	0.00	12,963.38	71	20,281	10,000	720,000	720,000	1,440,000
	新井妙高	35	94.00	3,290.00	1,117.57	0.00	4,407.57	35	15,785	4,000	140,000	412,500	552,500
	糸魚川	42	99.96	4,198.40	376.27	79.71	4,654.38	42	12,547	4,000	168,000	359,000	527,000
	高田東	35	126.19	4,416.51	1,050.00	0.00	5,466.51	35	19,085	4,000	140,000	528,000	668,000
	糸魚川 中央	27	167.78	4,529.98	878.40	0.00	5,408.38	27	28,125	4,000	108,000	651,400	759,400
	越後春日 山	33	103.94	3,429.91	841.14	945.36	5,216.41	33	13,939	4,000	132,000	328,000	460,000
	D2560	0	0.00	0.00	6,056.26	0.00	6,056.26				0	344,361	344,361
合計	1,963	127.61	250,498.15	71,283.53	3,141.01	324,922.69	1,999	18,319		8,904,280	27,715,471	36,619,751	